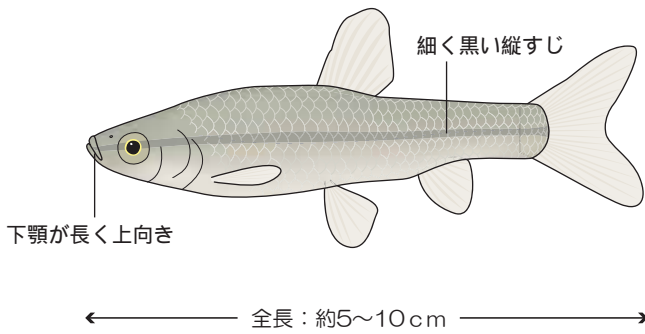


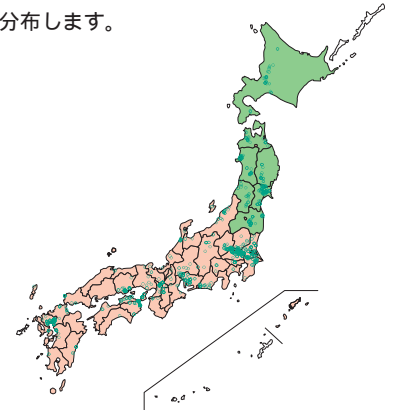
別名：クチボソ、ヤナギモロコ、イシモロコ



メモ 口は受け口で小さく、いわゆる“おちょぼ口”であり、別名のクチボソもこれに由来します。

分布

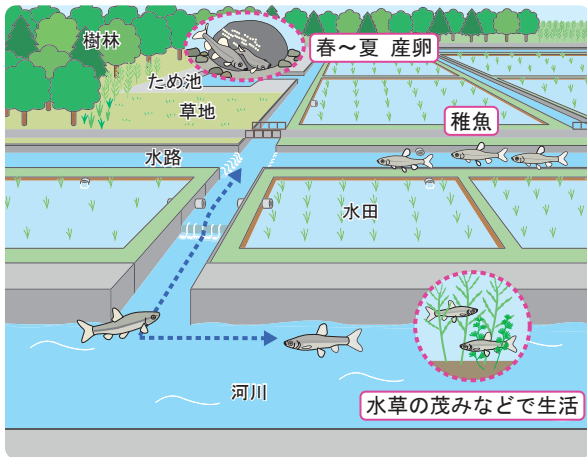
移植を含めて日本各地に分布します。



●：「田んぼの生きもの調査」での確認箇所

生態

---> : 本来の移動経路 ○ : 生息環境



主な産卵環境と生息環境

↔ : 主な生息環境

樹林・草地	ため池	水田	水路	河川	海
	産卵		産卵	産卵	

生活史

河川や水路、ため池に生息し、緩流域や川岸の水草などの中で生活します。春から夏に、止水から緩流域の抽水植物の茎や石の表面などに産卵します。

写真



非繁殖期



繁殖期

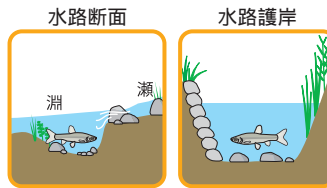
繁殖期に婚姻色を呈したオスは、全体が黒ずんで、体側の縦すじが目立たなくなります。

配慮対策

生息環境の確保

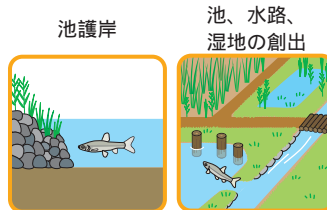
水路、ため池における緩流域、水草・抽水植物、石の創出

環境配慮型水路の対象工法



- 【水路断面】
- 瀬・淵 p.69
- ワンド p.70
- 乱杭工・置石工 p.71
- 敷石、砂、砂利、玉石、植生 p.72
- 【水路護岸】
- 土水路 p.73
- かご系 p.74
- 木系 p.75
- 自然石系 p.76
- 二次製品系 p.77
- 複合系（井桁護岸） p.78

保全池・ビオトープの対象工法



- 【池護岸】
- 自然石系 p.85
- 複合系 p.86
- （捨石等による緩傾斜護岸）
- かご系 p.87
- 木系 p.88
- 二次製品系 p.89
- 【池、水路、湿地の創出】
- 保全池 p.90
- 承水路 p.91
- 耕作放棄地等のビオトープ化 p.92

【配慮ポイント】

・産卵環境となる石と抽水植物、生活の場となる緩流域や水草を創出する工夫が必要です。

移動経路の確保

水路内の落差の解消

魚道の対象工法



- 【水路魚道】
- 階段型 p.61
- 隔壁型（千鳥X型） p.62
- 隔壁型（ハフコン型） p.63
- 片斜面粗石付魚道 p.64

【配慮ポイント】

・水路における生息を配慮して、水路魚道を設置します。体が小さく遊泳力が弱いので、流速を緩やかにすることが重要です。